

教科	農業	科目	森林科学	単位数	2 単位	学年	1 年	コース	F
使用教科書	森林科学 文部科学省			使用副教材等	なし				

目標	第1章では、森林生態系の構造と多面的機能について、森林の発達段階を踏まえた森林生態系の構造や森林生態系の果たす地球や地域に対する大きな機能や意義について理解することができるようにすることを目標とします。第2章では、章森林の生態系と植生帯の分布、森林の遷移について森林の発達段階を踏まえた森林生態系の構造や森林生態系の果たす地球や地域に対する大きな機能や意義について理解することができるようにすることを目標とします。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	森林を構成する個々の要素について正しく理解し、森林の概念を身に付けている。生態系と多面的機能、森林の生態系と植生帯の分布、森林の遷移について自分の言葉でまとめ、他者に伝える技能を身につける。	現代の森林が抱える問題を理解したうえで、解決策を考え出すことができる。森林の生態系と環境問題を関連づけ、持続可能な開発目標の観点で考えることができる。	森林の役割や生態系について関心を持ち、自ら課題に取り組もうとする意欲や態度を身に付けている。
評価方法	・小テスト ・グループワーク (他の人に自分の意見を伝える技能が身につけているか)	・ワークシート ・グループワーク (森林が抱える問題を理解したうえで解決策を考えていか)	・授業態度の観察 (主体的・協働的に取り組んでいるか、ワークシートへの記入はしっかりできているか)

担当者からのメッセージ	・グループワークを取り入れた授業を行うので積極的に参加すること。
-------------	----------------------------------

学期	月	学習内容 学習のねらい	観点別評価規準
1	4 ～ 7	第1章 ○森林とは ・森林の定義・分類方法を理解する ○森林の多面的な機能 ・森林の多面的機能について考え、理解する ○多面的機能の総合的発揮 ・多面的機能を発揮させる方法を理解する ○持続可能な森林管理 ・持続可能な森林について考え、理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・森林について興味を持ち、森林の定義・分類について理解する事ができる。(知) ・森林の多面的機能について意欲的に考え、自分の言葉で他者に伝えることができる。(思) ・森林の多面的機能について理解し、機能を自分たちの生活と関連付けて考えることができる。(知) ・多面的機能の総合的発揮について理解することができる。(知) ・持続可能な森林作りに興味を持ち、どのようなものか理解し、自分たちが今何ができるのか考える。(態)(思) ※(知):知識・技術 (思):思考・判断・表現 (態):主体的に学習に取り組む態度
2	8 ～ 12	○森林承認の制度、育林技術 ・森林承認の制度、育林技術について理解する ○育林の役割、課題と新しい方向 ・育林の役割、課題と新しい方向について理解する 第2章 ○生態系 ・生態系の構造を理解する ○気候と植生 ・森林の気候と植生について理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・森林承認の制度、育林技術について理解することができる。(知) ・育林の役割と課題を理解し、課題解決のためにどうしたらいいのか考えることができる。(態) ・森林生態系について興味を持ち、生態系における物質循環とエネルギーの流れについて理解する事ができる(知) ・高知県の気候について興味を持つとともに、世界や日本の植生帯の分布について理解することができる(態)(知)
3	1 ～ 3	○日本の自然環境と植物群系の分布 ・日本の自然環境と植物群系の分布について理解する ○植物群落の遷移 ・植物群落の遷移について理解する ○樹木 ・森林を構成する主な樹木について理解する ○林木の生育特徴 ・森林の生育特徴について理解する ○林木の生育に関わる環境因子 ・林木の生育に関わる環境因子について理解する	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の自然環境と植物群系について理解し、高知県の自然環境と植物群系の特徴を捉えることができる(知)(思) ・各気候帯における植物群落の遷移について理解することができる(知) ・樹木の構成と日本の主要な樹木について理解することができる(知) ・樹木の生産量、成長、繁殖様式について理解することができる(知) 林木の生育に関わる環境因子を理解し、林木の育成のためにどうしたらいいのか考えることができる(態)(知)